

ところが、貴方の為にと、第2人称で考え、第1人称で、もし私の目が失明したらどうしてほしいかと、そう言う所から出発するのが真実のボランティアであろうと考えます。

又、最近、交流教育と言うのが推奨されております。健常児と障害児をいっしょに遊ばせましようと言うことであります。私が心配しておりますのは、盲学校を作ったり、老人ホームなど施設を作ったりして、障害者をそこに閉じ込めてしまうことで福祉が終わったと考えていることです。私は逆にそのような施設を無くして行くことが真実の福祉ではなからうかと考えております。

私がドイツに出掛けたときのことであります。ドイツには18才になりますと徴兵制が義務としてあるのです。又、その徴兵を免がれる手段として、いかに福祉活動をしたか、ボランティアをしたかで評価されます。やはり日本も福祉徴兵制一全員が福祉を体験する義務が必要な、福祉行政の推進が求められる時代に入っているのではないかと考えております。「そうしないで、こうしてください」と言う小冊子をつくりましたら、小学校3年生の「みんなで考える道徳」と言う教科書に採用されました。こんなことで皆様の障害者に対する意識が高まればと期待致しております。

おわりに、10月16日新潟日報に掲載されました「私も一言」を読ませて頂きます。

盲導犬に新潟の風は冷たい

映画「蔵」を見てきた。誘ったのは視覚障害者のご夫妻である。盲導犬を連れたご夫妻と映画館の前で落ち合った。盲導犬は雌で、黄色の薄いコートを着ている。毛を落とさないようにという心遣いである。映画の上映中、犬はいすの上に頭を突っ込んで静かにしていた。視覚障害者と映画を見るのは初めてのことで、隣に座ってスクリーンの場面を説明した。ご夫妻とも原作を読んでいるようで、簡単な説明でも役に立ったようだった。終わって一緒に食事をした。私のよく行く店へ案内したが、盲導犬はだめとのこと。仕方なくご夫妻の行きつけの店へ行った。

盲導犬を拒否しないように厚生省から通達が出ているようだが、別に罰則があるわけでもない。ペットとは違うのに、福祉もまだまだだと残念だった。盲導犬は一生、主人の目の代わりをする。十二才でその役目を終わり、老犬園で余生をおくると言う。

帰りはタクシーに乗った。運転手さんに盲導犬は乗せてもいいかと聞いたら、よいという。会社ではどうかと聞いたら確答はなかった。よく自動車の窓から首を出した犬を見かけるが、商売となると犬の扱いが違うらしい。映画が映画だっただけに、何とも後味の複雑な映画観賞だった。一生を盲人の目の代わりに終わる犬には、新潟の風はまだ冷たいらしい。犬の気持ちを聞いてみたくなかった。

昨日、いっしょに出掛けました盲人の所に行行って来ました。そして、その犬に気持ちを聞いて来ました。犬は「もっともである」…と。

新潟県の福祉、ボランティアのランクが少しでも上がるよう、皆様と共に私も務めたいと思いますので、何卒、ご協力の程をお願い致します。

10月24日例会： 職場例会 三条市公共下水道事業終末処理場

10月31日例会： 10周年基本計画の説明会

11月7日例会： 11月6日 市内3RC合同例会 VIP



会長／味方義一
幹事／木宮 隆
SAA／稲田 憲治

三条北ロータリークラブ週報

真心の行動
慈愛の奉仕
平和に挺身

例会日
1995. 10 . 17
累計 No 434
当年 No 14

国際ロータリー会長 ハーバード・G・ブラウン 第2560地区ガバナー 重田政信

例会日／火曜日 12:30～13:30

例会場／三条ロイヤルホテル ☎34-8111 FAX34-8114

事務局／三条市西四日町3-15-34

ヒューマン・ハーバー内 ☎35-7160 FAX33-8972

行事： 職業奉仕（ボランティア）委員会主管

卓話「そうしないで、こうして下さい」北陸電々(株) 真壁芳郎様

出席： 本日の出席 55名中37名

先々週の出席率 55名中47名 85.45%（前年同期90.38%）

先週のメークアップ： 10月3日 新潟中央RCへ 佐藤啓策さん

4日 三条RCへ 中條耕二さん 加藤 実さん 山上茂夫さん
佐藤義英さん 樋口金占さん 高橋彰雄さん
西山 斉さん 目黒宣行さん 佐藤文夫さん

5日 加茂RCへ 中條耕二さん

5日 見附RCへ 淵岡 茂さん

6日 吉田RCへ 小林 満さん 佐藤啓策さん

12日 燕RCへ 小林 満さん

12日 加茂RCへ 山上茂夫さん

16日 三条南RCへ 坂本勝司さん 中條耕二さん

ビジター： 三条RCより 山本福七さん

三条南RCより 鈴木圀彦さん

ゲスト： 北陸電々(株) 真壁芳郎様

会長挨拶： 味方義一

10月は職業奉仕月間であります。本日は山本先生よりのご紹介に北陸電々株式会社取締役直壁芳郎さまよりそうしないで、こうしてあげて下さいとの表題に視覚障害についての卓話であります。先生よりお願い致します。

14日には実盛寺万灯会がお陰さまで無事決行出来ました。私の檀家寺であり日蓮宗の日蓮宗祖の法要御会式に行われます。大万灯5基、まとい5本、太鼓、笛、コンチキ総勢80名で隊列を組んで

大通りをねり歩きます。

今年で3回目をかぞへております。日蓮宗祖の入滅の地東京、池上本門寺では12日に行われ各万灯会講中約60組が夕方から午前4時頃までマトイを振りおはやしをはやしながらかつて寺へ登ります。それぞれの講中を自前の曲を作り、マトイ、おはやし技術を競いあうのです。我々実盛寺万灯会も来年は参加する事にしております。

北クラブには10周年式典に花をそへるべく丸山誠一さんを頭に北鼓隊と名付け、精鋭10名が集い発会しました。私も隊員の一人であります。10名とはいわずもっと大勢の参加を期待しております。

幹事報告： 木宮幹事

なし

ニコニコボックス： 17日現在累計 402,400円

梨木建夫君 娘が福岡の全国バーテンダー技能選手権大会で悲願の「金賞1位」と去年に続いて「ベストネーミング賞」を獲得して来年の世界大会への挑戦権も日本代表として与えられました。皆様の御支援を心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

梨本清一君 川柳と福祉が聞けてありがたや（本日の講師は川柳の大先生だそうです。）

加藤実君 タイ、ベトナム、カンボジア、ビルマ4ヶ国を10日間で駆け抜けてきました。久しぶりにギブミーチョコを思い出しました。

佐藤義英君 真壁様遠い所ありがとうございました。卓話よろしくお願い致します。

早川瀧雄君 真壁先生本日の卓話宜しくお願いします。

堀川正幸君 皆様、久しぶりの例会のように感じられます。

馬場直次郎君 PM1.30頃来客がありますので申し訳ありませんが早退させていただきます。

坂内康男君

イライラボックス： 17日現在累計 2,000円

卓話： そうしないで、こうして下さい 北陸電々(株) 真壁芳郎さん

1. 自己紹介を兼ねて

2. 新潟は本当に住みよいか

3. 「そうしないで、こうしてください」を発行して

4. 障害者から学んだこと

5. 私の考えるこれからの福祉

★皆様、こんにちは。まず私の自己紹介を兼ねまして、少し話させて頂きたいと思います。私の生

組を見ます。

私は女の子2人を持つ主婦です。実は主人の父が糖尿病で10年位前から失明致しました。目が見えないのは不自由であるが、不幸ではない。家にこもり暗くなる一方です。母との間は嫌悪ムード、意地の張り合いのように見えるのです。誰も自分の気持ちなど判るわけではないと言わないで、もっと外に働きかける気持ちだけは忘れないでほしいと…。ほんとに不自由な人達は家にこもりがちなのです。それをいかに外に引き出すかと言うことが1つの私達のボランティアではなかろうかと思っております。そして不自由であった不幸ではなかったと言う人生を送ってほしいと願っております。

今、視覚障害者は全国で35万人おられるそうです。大体人口の0.3%弱であります。ですから三條市でいえば約8万人としますと約200～250人の視覚障害者の方がおられるはずどす。その中で全盲の方は2割程度であると言われております。そんなことから私がこれからやって行きたいボランティアは障害者の団体の方と私達がお付き合いをするのではなく、ボランティアの団体に加入している障害者の方々はいずれ全体の1割であり、あとの9割の方々は先程お話致しましたように、家族の「足でまとい」になるから私はいいや…と言って一生暮らしている皆様がいかに多いかと言うことであります。特に新潟県は老年の自殺が多いのもそんなことが背景にあるような気が致します。

警女の「小林ハナ」さんは三條のご出身だそうで、かつては新潟県は盲目王国であったと思われ、そこには盲目の文化と言うものがあったと思います。ところが現在はもう、世間の片すみに追いやられているだけのようです。私達は福祉だ、看護だと色々やっておりますが、ほんとうに「こうしてほしい」と言うことに応えているのかどうかと、同じ様にボランティアに致しましても良く聞かされることですが、定年になって暇が出来たと、何かお手伝い出来ることはありませんか…。障害者の方々は24時間が生活なんです。私には時間が余った、お金が余ったからボランティアをやってあげよう…と言うボランティアは偽物であると私は考えております。

ですから私は一日24時間のうち2時間位はボランティアしようと考え、あまりたいしたことは出来ませんが、毎日ワープロを打っております。私は視覚障害者の方々全員に対してこんなことをやります、などとだいそれた考えはありませんが、この方の為にやってあげようと、この方がこう言う事で困っているだろうと、こうしてほしいと思っていると言うことに応えているつもりです。

★現在、新潟県で社会福祉研究普及校と言うのが小中学校含めて80校あります。3年間にわたって10万円ずつの研究費を補助しておりますが、その資料によりますと、募金箱を持って街角に立つことがボランティアだと、空き缶を拾ってそれら寄付したからボランティアだと言う福祉教育のレポートばかりでがっかりしておるところです。ボランティアも第1人称で考えるのか、第2人称で考えるのか、第3人称で考えるのかが大切です。

行政の行うボランティアは第3人称で考えて、皆さんにこうしましょうと、困っている皆さんにどうしましょうと言うボランティアであります。